



### 全国民生委員児童委員連合会 副会長 高山 科子さん（山方）

平成7年に民生委員・児童委員に選出。以降20年以上に渡り、地域の相談役として活動し、令和4年度、岡山県の委員として初めて全国民生委員児童委員連合会の副会長に就任。取り組みの輪を広げるため日々活動する高山さんに、思いを聞きました。

**困っている人を助けたい**  
平成7年から東山方町内の民生委員・児童委員（以下、委員）になりました。それまでは田町の法務局で働いていて、前任の委員が辞める時に、地域の皆さんから声を掛けられました。不安はありましたが、「一人のためになる事ならやってみたら？」という家族の後押しや、自分を育ててくれた地域で、困っている人を助けたいという気持ちから引き受けました。祖父が民生委員をしていて、地域の困っている人に寄り添う姿を、幼い頃から見てきたことが、この気持ちにつながっているのかもしれませんが。

#### 地域の身近な相談役として

委員の役割は、ひきこもりや虐待など、地域の皆さんの相談に乗ったり、子どもや高齢者、障害のある人の見守りや安否確認をしたりすることです。どの委員も、安心して暮らすことができる地域をつくるため、身近な相談相手となるよう日々頑張っています。

寝たきりの高齢者の訪問や、家庭内のもめごとの相談を聞くなど、苦勞することも多いです。相談に乗った人から「ありがとう」と言われた時など、「誰かの役に立っ

た」という実感が元気の源になり、これまで続けることができています。

泣いたり笑ったり、いろいろな経験をしてきましたが、仲良くあった地域の皆さんとの思い出は、わたしにとってかけがえのない宝物です。

#### 委員が気持ちよく活動できる場を

地域の過疎化や高齢化、働くシニアの増加などで、委員のなり手不足が全国的な問題となっておりま。委員は、厚生労働大臣が委嘱する非常勤の地方公務員でありながら、報酬は無くボランティアです。地域の相談役として、なくてはならない存在の委員が気持ち良く、存分に活躍できる環境整備を、国に働きかけていきます。これからも「恨まない・憎まない・怒らない」をモットーに、いつも笑顔で活動を続けていきたいです。



朝の一斉あいさつ運動の様子

民生委員・児童委員制度については、19ページでも紹介しています。



市立図書館に、美作地域のスギやヒノキを使った家具がご覧見えました。「おはなしの森」の木球プールは、子どもたちに大人気。他にも、ヒノキの本棚、スギのフローリング、子ども用の木製家具やおもちゃなどを設置しています。図書館を訪れた時には、ぜひスギ・ヒノキの家具を探してみてください。（※）

6ページの、健康長寿はつつらつ事業の様子を取材しました。通いの場に行くと、まず参加者のまぶしい笑顔に出迎えられ、イキイキとした皆さんの姿に、こちらもう元気になりました。誰かと顔を合わせ、あいさつをしたり、会話をしたりすることが健康づくりの第一歩で、元気の秘訣なんだと感じました。（※）

3月20日に開通した総社川崎線。式典はあいにくの天気で、16ページの写真は、雨風が吹き荒れる中での撮影でした。夕方、自分も車で通りたくなり寄り道。少しの晴れ間に見えた、夕日に照らされたまっすぐな道は感動的な景色でした。安全で、地域の発展につながる道の完成。印象深い一日になりました。（※）